



「カブ隊パワー全開！！夏の宿泊訓練」

2012. 8/25 (土) ~ 1泊2日

活動目標：夏キャンプを通じてカブスカウトの総仕上げをする。

- 夏休み最後の週末。今回は磐梯青少年交流の家で1泊2日の宿泊訓練を実施しました。

1日目 8/25 (土)

朝6：00市役所集合



今回の参加者は、スカウト15名、保護者6名、指導者3名、計24名です。

朝早い集合で、まだ眠そうなスカウト達ですが、それぞれの車に分乗し目的地を目指しました。

途中トイレ休憩をはさんで、8：00に猫魔八方平登山口に到着。

8：20 待ちに待った磐梯山登山開始です。



途中、弘法清水で休憩した後500m先の山頂を目指しました。

(この500mがキツイ…(＞_＜))

そして11:00 ……全員が無事山頂に到着！！



山頂からの景色を眺めながら昼食です。



昼食後、約2時間半かけて下山。 15:30、再び猫魔八方平登山口へ……



この後は、磐梯青少年交流の家へ移動し、開所式を行いました。スタッフの方より施設の使い方等についてお話があり、スカウト達は真剣に話を聞いていました。



その後、常設テントサイトへ移動・・・



テントサイトを確認中



本日宿泊するテントです

それぞれのテントに荷物を整理した後、「夕べのつどい」→「夕食」と忙しく時間が過ぎていきました。

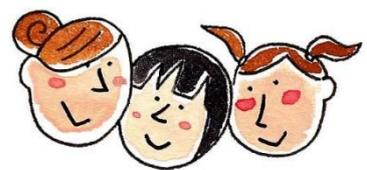


「夕べのつどい」では、団体紹介が行われました。



本日の夕食

キャンプファイヤー



夕食後は、待ちに待ったキャンプファイヤーです。
薪の準備をしている間、スカウト達は出し物の準備です。
保護者の方々にご協力いただきながら、予定通り19:10から1時間実施しました。

<第1部 迎え火のつどい>

火の神からお話をいただいた後、3名のスカウトへ「健康」「友情」「奉仕」の火がそれぞれ分けられました。



健康の火



友情の火



奉仕の火



火の神の合図で点火



～ 激しく燃える炎を囲み、全員で「燃えろよ燃えろ」を歌いました。 ～

<第2部 交歓のつどい>

火を囲みながら、全員で歌や踊り、ゲームを楽しみました。



野菜の名まえ覚えているかな？

「ココナッツ」



「横田副長と愉快的な仲間達」



白組のスタンツ



指導者もおそろいのTシャツで踊りを披露

<第3部 送り火のつどい>

楽しかったキャンプファイヤーも終わりの時間が近づいてきました。
小さくなった火をみんなでしばらく見つめた後、隊長よりお言葉をいただきました。
お互いの友情を確かめ合った後、「今日の日はさようなら」を歌い終了です。

キャンプファイヤー終了後は、「しかスカウト会議」「組長会議」「上進章集会」を行いました。その後入浴、組集会を終えて1日目が終了です (-_-)zzz

2日目 8/26 (日)

5時半起床、6時半より点検を行いました。



1晩過ごしたテントとお別れし、スカウト達は「朝のつどい」に参加です。



ラジオ体操



朝食



<朝礼>

昨日の登山で筋肉痛のスカウトもいましたが、全員体調は万全！！

「旗揚げの歌」を元気に歌い、午前中のプログラムに入りました。

オリエンテーリング



午前のプログラム①は、磐梯青少年交流の家の敷地内から1時間以内に20のチェックポイントをみつけるオリエンテーリングです。

開会式の後、組ごとに作戦会議を行い、いざ出発です！！



そして1時間後・・・すべての組がゴールして結果発表です。



第1位	白組	75点	(51分)
第2位	赤組	75点	(55分)
第3位	黄組	70点	(59分)

どの組も僅差で大健闘です！！

全員が組旗の表彰リボンに自分の名前を書いた後、記念撮影を行いました。



赤組



白組



黄組

ボーイ技能大会見学

午前のプログラム②は、本日会場内で実施された「技能大会」の見学です。

郡山第1団ボーイ隊は、第1位、第3位と大健闘！！

手旗、計測、救急・・・速さはもちろん正確さを必要とする様々な種目を見て、ボーイ隊への憧れを一層深めたようです。



残暑厳しい中、内容の濃いプログラムでしたが、カブスカウト達は真剣に、そして元気いっぱいにご参加いただき、充実した2日間になったようです。

夏休み最後の週末、一段とたくましく成長したスカウトの姿を見ることができました。

9月の上進式が楽しみです。



隊長より今回の活動について

汗びしょりになって登った磐梯山。頂上からの眺めは登った人しか味わえない景色だよね。途中の清水の冷たくて美味しかったこと・・・トンボがたくさん飛んでいたね！この二日間でみんな目にみえないけど5cmも10cmも大きくなったと感じたのは隊長だけではないと思います。この感動を次のステップに活かせられたらいいなあ、と思います。1年間ありがとう！！